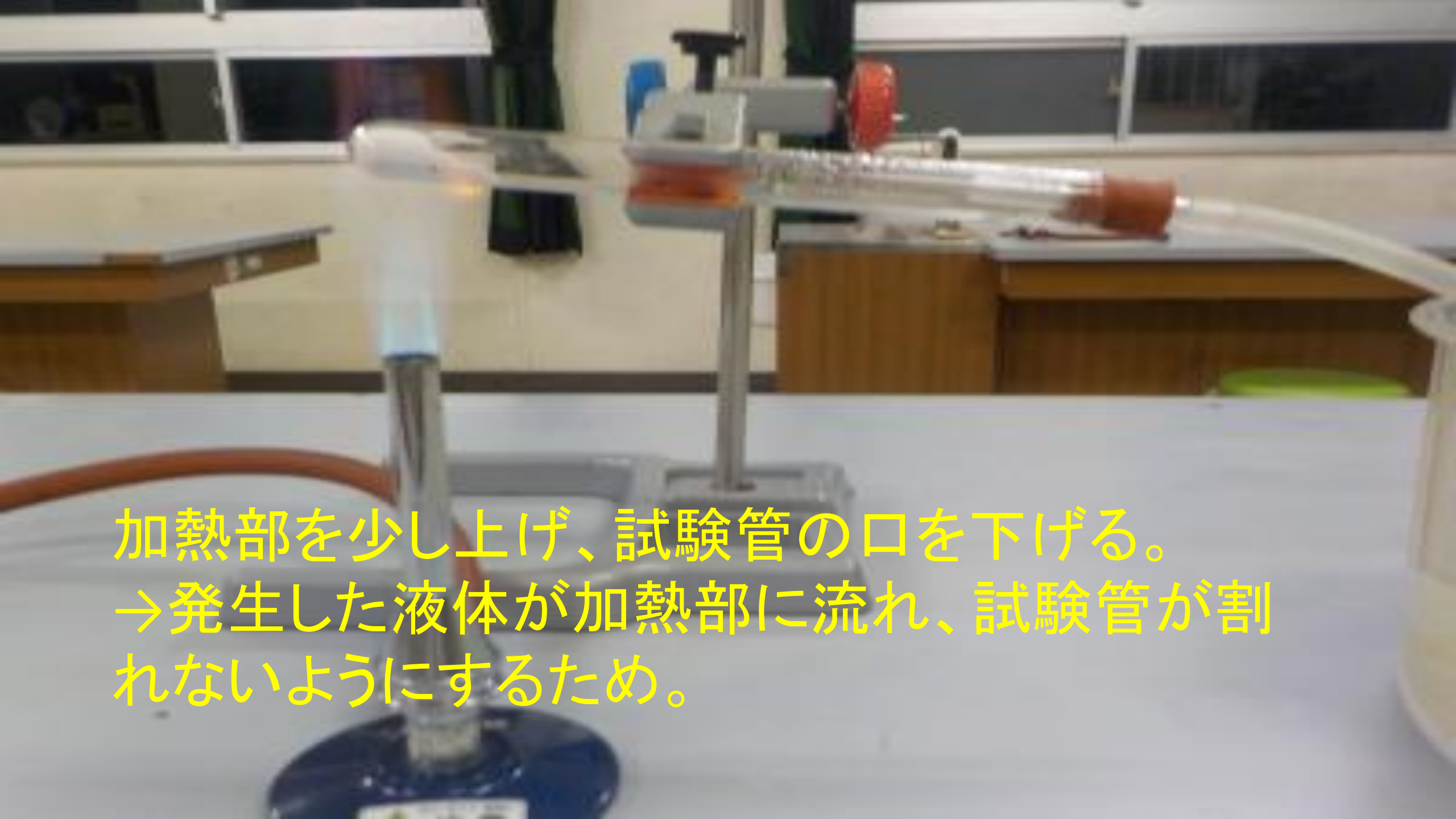


# カルメ焼きの秘密（炭酸水素ナトリウムの分解）

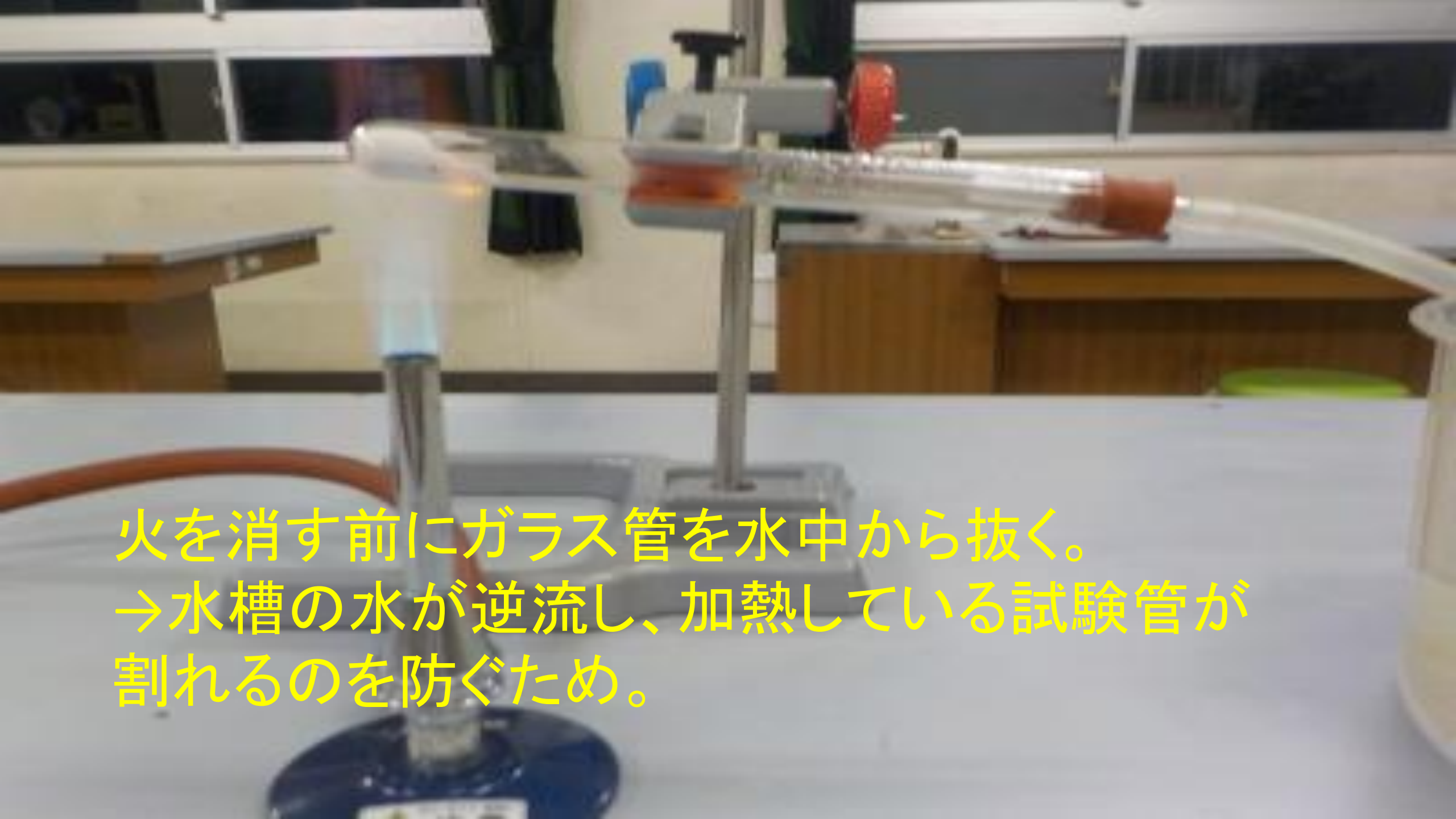
松山市立桑原中学校  
2年生理科 学習支援web資料



水上置換法＝水に溶けにくい気体を集める。



加熱部を少し上げ、試験管の口を下げる。  
→発生した液体が加熱部に流れ、試験管が割れないようにするため。

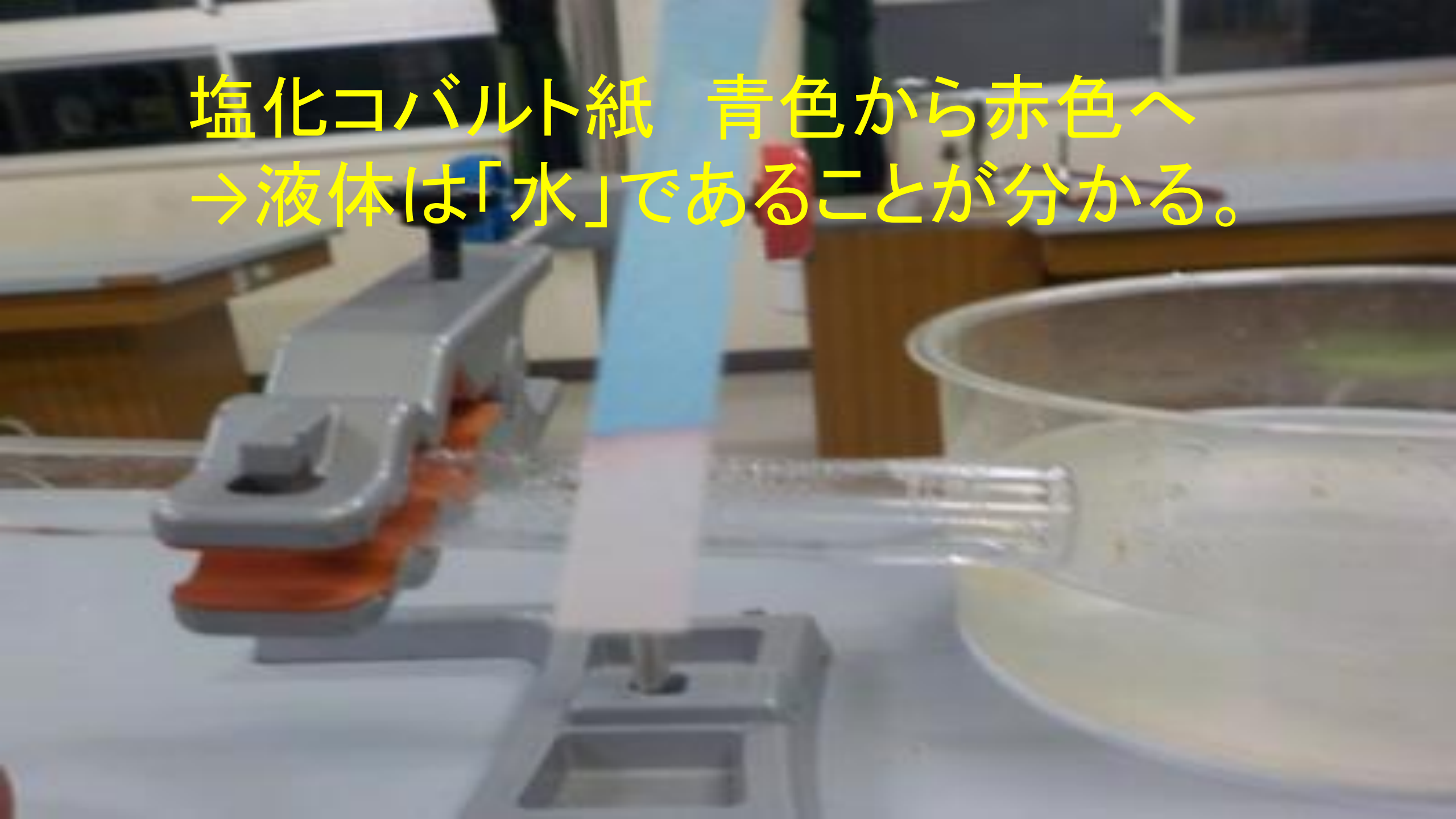


火を消す前にガラス管を水中から抜く。  
→水槽の水が逆流し、加熱している試験管が割れるのを防ぐため。



試験管の口付近には、液体がついている。

塩化コバルト紙 青色から赤色へ  
→液体は「水」であることが分かる。



加熱後  
加熱前

左の試験管(とけやすい)  
右の試験管(少しとける)



# フェノールフタレイン溶液との反応 (水溶液のアルカリ性の強さを調べる。)

加熱後 左の試験管(濃い赤=強アルカリ)  
加熱前 右の試験管(うすい赤=弱いアルカリ)



# 学習のまとめ

炭酸水素ナトリウムを加熱すると、  
炭酸ナトリウム・水・二酸化炭素に分かれる。

☆「酸化銀」・・・おなじょうに加熱すると  
酸素・銀に分かれる

- もとの物質とはちがう物質ができる変化 化学変化
- 1種類の物質が2種類以上の別の物質に分かれること 分解  
(熱による分解と特に熱分解という。)